

得点	演習問題	実施日	月	日	氏名

【1】法と裁判について述べた次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

一般には(①)をもって行動するかぎり、わたしたちは法を知らなくても支障なく生活していける。法がはっきりした役割を演ずるのは社会の中で争いが起きたり、(②)があった場合などである。法はそれらを裁く基準となるため、明確で(③)な法をあらかじめ決めておく必要がある。法にもとづいて紛争を解決することを裁判といい、その権限を 権という。また、その仕事を担当するところが裁判所である。

(1) ()①～③に当てはまる語句を、次のア～カの中から選び、その記号を書きなさい。(① ② ③)

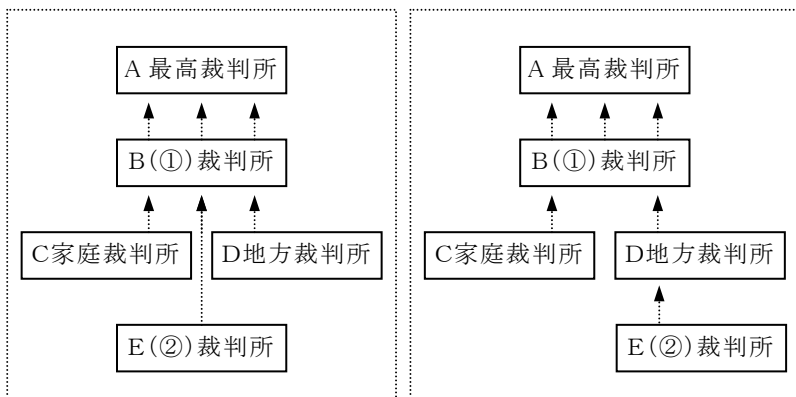
- | | | |
|------|------|-------|
| ア 基準 | イ 犯罪 | ウ 主観的 |
| エ 戦争 | オ 常識 | カ 客観的 |

(2) に当てはまる語句を、漢字 2 字で書きなさい。()

【2】下の図を見て、次の問いに答えなさい。

《図 I》

《図 II》



(1) 図中の()に当てはまる語句を漢字 2 字で書きなさい。
B() E()

(2) 図中のB・C・D・Eをあわせて何といいますか。次のア～エの中から選び、その記号を書きなさい。()

- | | |
|---------|---------|
| ア 下等裁判所 | イ 下位裁判所 |
| ウ 下級裁判所 | エ 下院裁判所 |

(3) 図 I・II はそれぞれ何という裁判を表していますか。
図 I () 図 II ()

(4) 図 I の裁判では2009年度より重要な裁判については第三者である国民が裁判に出席し判決に対して重要な決定を行う制度が始められることになった。この制度を何といいますか。()

(5) 次の文の()に当てはまる語句を書き入れなさい。
ア() イ()

第一審の判決に不服の場合は、上級の裁判所に(ア)することができ、第二審の判決にも不服の場合は、さらに上級の裁判所に(イ)することができる。

(6) (5)のように原則として一つの事件について三つの段階まで裁判をもとめることができるしくみを何といいますか。()

【3】次の問いに答えなさい。

(1) 次の文は、法廷での裁判のようすを表したものである。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

裁判官: 「わたしは裁判官です。今から裁判を始めます。被告人は証言台で名前、住所などを言いなさい。次に(A)は起訴状を読み上げなさい。」

(A): 「起訴状。被告人は、借金の返済に困り、殺害して金をうばう目的で友人宅をおとずれ、友人を絞殺した。」

裁判官: 「被告人に聞きます。この起訴状にまちがいはありませんか。」

被告人: 「わたしは、金を借りようとしただけです。殺す気はありませんでした。」

裁判官: 「(A)から、被告の罪状を証明する証人に話を聞きたいという意見がありましたので認めます。(A)、どうぞ。」

(A): 「被告人の行為の事実関係を証明するために証人をよんでありますので、話をお聞きください。」

裁判官: 「被告人の(B)から証人の請求がありましたので、認めます。(B)、どうぞ。」

(B): 「被告人は、被害者とは長年の友人で、強い信頼関係にあり、殺意をもって訪れたとは考えられません。証明するために証人をよんでありますので、話をお聞きください。」

(...以下略)

裁判官: 「今日の裁判はこれで終了します。(C)は、後日事実関係を正しく確認したあとでいいわたすことにします。」

① ()A～C に当てはまる語句を、次のア～カの中から選び、その記号を書きなさい。

- | | | |
|------|-------|-------|
| A() | B() | C() |
| ア 判定 | イ 弁護士 | ウ 原告 |
| エ 判決 | オ 傍聴人 | カ 検察官 |

② この裁判は何とよばれるか。漢字 4 字で書きなさい。()

③ 文中に「被告人」とあるが、被告人は起訴されるまでは何とよばれますか。次のア～エの中から選び、その記号を書きなさい。()

- | | | | |
|------|-------|-------|-------|
| ア 被告 | イ 容疑者 | ウ 被疑者 | エ 当事者 |
|------|-------|-------|-------|

得点	演習問題〔解答〕	実施日	月	日	氏名

【1】法と裁判について述べた次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

一般には(①)をもって行動するかぎり、わたしたちは法を知らなくても支障なく生活していける。法がはっきりした役割を演ずるのは社会の中で争いが起きたり、(②)があった場合などである。法はそれらを裁く基準となるため、明確で(③)な法をあらかじめ決めておく必要がある。法にもとづいて紛争を解決することを裁判といい、その権限を 権という。また、その仕事を担当するところが裁判所である。

(1) ()①～③に当てはまる語句を、次のア～カの中から選び、その記号を書きなさい。(① オ ② イ ③ カ)

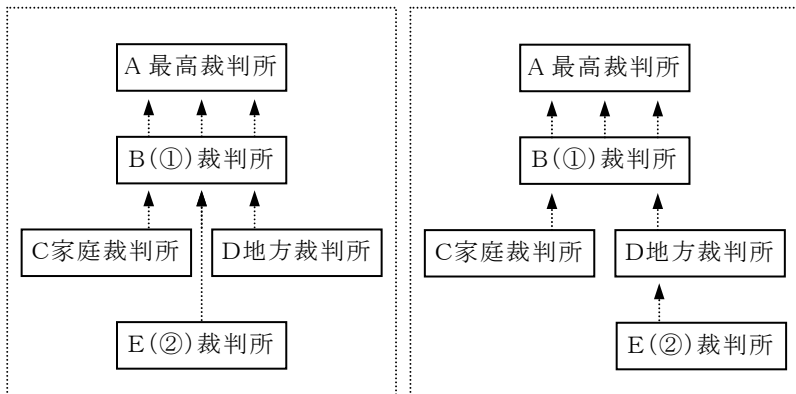
- ア 基準 イ 犯罪 ウ 主観的
エ 戦争 オ 常識 カ 客観的

(2) に当てはまる語句を、漢字 2 字で書きなさい。(司法)

【2】下の図を見て、次の問いに答えなさい。

《図 I》

《図 II》



(1) 図中の()に当てはまる語句を漢字 2 字で書きなさい。B(高等) E(簡易)

(2) 図中のB・C・D・Eをあわせて何といいますか。次のア～エの中から選び、その記号を書きなさい。(ウ)

- ア 下等裁判所 イ 下位裁判所
ウ 下級裁判所 エ 下院裁判所

(3) 図 I・II はそれぞれ何という裁判を表していますか。図 I (刑事裁判) 図 II (民事裁判)

(4) 図 I の裁判では2009年度より重要な裁判については第三者である国民が裁判に出席し判決に対して重要な決定を行う制度が始められることになった。この制度を何といいますか。(裁判員制度)

(5) 次の文の()に当てはまる語句を書き入れなさい。ア(控訴) イ(上告)

第一審の判決に不服の場合は、上級の裁判所に(ア)することができ、第二審の判決にも不服の場合は、さらに上級の裁判所に(イ)することができる。

(6) (5)のように原則として一つの事件について三つの段階まで裁判をもとめることができるしくみを何といいますか。(三審制)

【3】次の問いに答えなさい。

(1) 次の文は、法廷での裁判のようすを表したものである。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

裁判官: 「わたしは裁判官です。今から裁判を始めます。被告人は証言台で名前、住所などを言いなさい。次に(A)は起訴状を読み上げなさい。」

(A): 「起訴状。被告人は、借金の返済に困り、殺害して金をうばう目的で友人宅をおとずれ、友人を絞殺した。」

裁判官: 「被告人に聞きます。この起訴状にまちがいはありませんか。」

被告人: 「わたしは、金を借りようとしただけです。殺す気はありませんでした。」

裁判官: 「(A)から、被告の罪状を証明する証人に話を聞きたいという意見がありましたので認めます。(A)、どうぞ。」

(A): 「被告人の行為の事実関係を証明するために証人をよんでありますので、話をお聞きください。」

裁判官: 「被告人の(B)から証人の請求がありましたので、認めます。(B)、どうぞ。」

(B): 「被告人は、被害者とは長年の友人で、強い信頼関係にあり、殺意をもって訪れたとは考えられません。証明するために証人をよんでありますので、話をお聞きください。」

(...以下略)

裁判官: 「今日の裁判はこれで終了します。(C)は、後日事実関係を正しく確認したあとでいいわたすことにします。」

① ()A～C に当てはまる語句を、次のア～カの中から選び、その記号を書きなさい。

A(カ) B(イ) C(エ)

- ア 判定 イ 弁護士 ウ 原告
エ 判決 オ 傍聴人 カ 検察官

② この裁判は何とよばれるか。漢字 4 字で書きなさい。(刑事裁判)

③ 文中に「被告人」とあるが、被告人は起訴されるまでは何とよばれますか。次のア～エの中から選び、その記号を書きなさい。

(ウ)

- ア 被告 イ 容疑者 ウ 被疑者 エ 当事者